

RUN TOMO-RRROW 2 0 1 6企画概要

特定非営利活動法人 認知症フレンドシップクラブ

2 0 1 6 年 3 月 1 0 日

／ コンセプト・歴史



「RUN伴」は、日本全国のまちが、
認知症になっても安心して暮らせる地域に
なることをめざして、認知症の人とともに
タスキをつなぐ列島リレーです。

2011

2012

2013

2014

2015

2016

2017～

第1回RUN伴
(函館～札幌)
参加者171人
(当事者約20人)

第2回RUN伴
(札幌～東京)
参加者743人
(当事者約70人)

第3回RUN伴
(旭川～大阪)
参加者1472人
(当事者約146人)

第4回RUN伴
(帯広～広島)
参加者4619人
(当事者227人)

第5回RUN伴
(北見～大牟田)
参加者7775人
(当事者655人)

第6回RUN伴
(北海道～沖縄)
参加者11000人
(想定)

台湾でも
開催予定
世界各地で
RUN伴を！

実施概要

【参加者】

11,000人（想定）

認知症の人・家族

医療福祉関係者・支援者・NPO

自治体職員・首長

企業従業員・商店街

小学生・中学生・高校生・大学生 など
（昨年実績8千人、認知症の人655人）

【走行距離】

北海道から沖縄までルートの総距離
およそ4000キロ（予定）

【スケジュール】

2016年6月25日 網走スタート（予定）

2016年11月26日 那覇ゴール（予定）



2014 北海道・帯広→広島
2015 北海道・北見→大牟田
2016 北海道→鹿児島・沖縄

認知症 フレンドシップ クラブ

認知症フレンドシップクラブ

RUN伴2016年実行委員会 (全国16ブロック)

- ・北海道実行委員会
- ・南北海道実行委員会
- ・北東北実行委員会
- ・南東北実行委員会
- ・秋田・山形実行委員会
- ・関東実行委員会
- ・新潟実行委員会
- ・北陸実行委員会
- ・長野実行委員会
- ・中部実行委員会
- ・関西イースト実行委員会
- ・関西ウェスト実行委員会
- ・中国実行委員会
- ・四国実行委員会
- ・九州実行委員会
- ・沖縄実行委員会

3 実施体制

主催 認知症フレンドシップクラブ
RUN伴2016年実行委員会

共催・後援（予定）
北海道グループホーム協会
各地の認知症家族会
各地の自治体など

パートナー企業（協賛） 各社

前年度協賛実績（五十音順）

株式会社 浅井ゲルマニウム研究所
アサヒグループホールディングス株式会社
日本イーライリリー株式会社
祥寿会
辰川会グループ
たっくんのバームクーヘン屋さん
なかはら歯科医院
NPO法人播磨認知症サポート
株式会社富士通研究所
フレアス
北海道薬剤師会
リハプライド 他

スケジュール

1月 ブロック代表者会議

4月 RUN伴公式ページオープン・Tシャツデザイン募集

5月 エントリーページ（スポーツエントリー）・Tシャツデザイン決定

6月下旬 RUN伴スタート（北海道）

8月下旬～9月 RUN伴（東北・関東・中部・北陸など）

10月 RUN伴（関西・中国・四国）

11月 RUN伴ゴール（九州・沖縄）

2月 事業・会計報告

※日程は変更の可能性があります。

詳細は、RUN伴チラシおよびエントリー開始時にご確認ください。

RUN伴は、認知症の人とともにまちづくりを広げるためのチャリティーイベントです。

RUN伴の収入から経費を除いた全額は、「認知症まちづくり基金」へ充てられます。

5 予算

(単位:千円)

収入		支出	
参加費	2 6 1 0 0	Tシャツ製造・管理	1 2 4 8 0
協賛金	2 5 0 0	Tシャツ配送業務	2 4 0 0
個人寄付	5 0 0	保険料	8 0 0
		フォトマガジン制作	1 0 0 0
		ブロック運営費	4 9 0 0
		本部（管理費）	1 4 5 0
		本部（旅費・交通費）	1 5 0 0
		本部（人件費）	1 0 0 0
		エントリー外注費	1 2 0 0
		サイト構築	5 0 0
		まちづくり基金	1 8 7 0
計	2 9 1 0 0	計	2 9 1 0 0



ランナーの中継・休憩場所の提供
飲料・軽食の提供
(株式会社ファミリーマート)



IT支援・
社員の運営参加
(株式会社
富士通研究所)



ドリンク提供・社員参加・寄付
関連イベントの会場提供など
(アサヒグループホールディングス株式会社)

6 パートナー企業（協賛）

認知症の人が安心して暮らせる地域のつながりを作っていくため、本企画の趣旨に賛同いただいた企業に、パートナーとしてご参加いただいています。協賛支援の他、社員の方たちにランナーとしてご参加いただいたり、認知症の当事者や家族との交流を深めていただいたり、企業が地域住民のみなさんと触れ合うきっかけとしてもご活用いただいています。

〔特別協賛〕 50万円

／ 公式Tシャツへのロゴ掲載（大サイズ）3社限定

〔A協賛〕 20万円 ／ 公式Tシャツへのロゴ掲載（中サイズ）

〔B協賛〕 金額制限なし ／ 記録誌への社名掲載

※ドリンク・軽食や休憩場所の提供などの現物協賛も含む

※詳細は、公式サイトより「協賛募集要領」をご覧ください。

＜現物協賛で特にお力をお借りしたい領域＞

- ランナーの中継・休憩場所
- レンタカー・AED・保険・Tシャツ・印刷などの現物協賛
- 個人からの寄付募集のための募金箱設置協力
- 一般の参加者の呼びかけ協力、社員のランナー参加

6 パートナー企業（協賛）

協賛ロゴ 掲載イメージ（画像は昨年のものです）



<メディア掲載（実績）>

読売新聞、産経新聞、朝日新聞
各種ローカル紙、NHK、民放各社
ウェブメディア各種

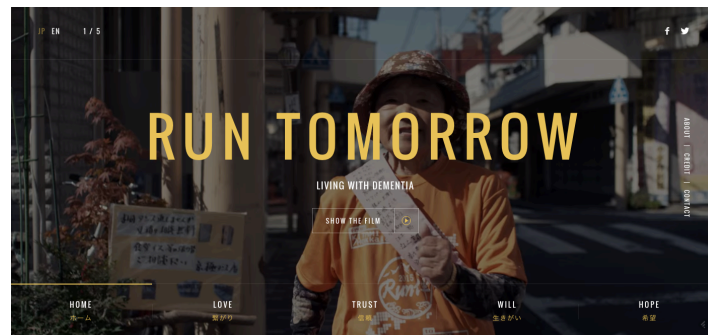


2014年
10月22日
夕刊一面
(読売新聞)



メディア掲載実績の詳細は、
<http://runtomo.jimdo.com/>をご参照ください。

7 メディア掲載・広報



RUN伴ショートムービー特設サイト
<http://runtomorrow.jp/>



RUN伴フェイスブックページ
いいね 3600+

8 認知症フレンドシップクラブについて

名称 特定非営利活動法人認知症フレンドシップクラブ

主な活動内容

認知症になっても安心して暮らせるまちづくり
サポ友（友人として支えるサポーター）の養成
認知症の人も安心して利用できる店・場所の認定・紹介
全国のまちづくりのネットワーク化、ノウハウ支援 など

代表者 井出訓（放送大教授・老年看護学）

設立 2007年

支部 全国17カ所

会員数 およそ700名

（認知症当事者・家族・支援者・一般市民・商店・研究者など）

本部スタッフ 4名（非専従）

<お問合せ先>

info@dfc.or.jp 担当者：徳田 090-9101-1878

【参考】

参加費区分の変更

RUN伴2015		➡	RUN伴2016	
ランナー	3000円	一般		2500円
サポーター	1500円	中学生以下		1500円
中学生以下	1500円	特別枠※		1000円

※特別枠とは
介護施設・グループホームで暮らす高齢者などの中で、一般参加費の負担が難しい方向けに、より気軽に参加していただくための枠です。
各ブロック上限100名までとなります。

RUN伴は、第1回より、ランナー（タスキをつなぐチャレンジに参加したい方）とサポーター（そのチャレンジを応援するチームメイト）という区分で実施してきました。チームごとに、ある程度ご判断を委ねる形でエントリーいただき、一定の評価をいただけてきましたが、初めて参加する地域の方から区分が分かりにくいというお声をいただくことが多くなり、2016年からよりシンプルな区分を変更することにしました。

基本的に、一律2500円となります。
特別枠は、認知症のご本人や家族などで、経済的な理由で参加が難しい方に、より気軽に参加していただくための枠です。各ブロック100名まで、先着順・自己申告となります。参加される方の良識に委ねる形を基本とし、条件に適合するかなどの確認作業は行いません。ただし、大人数での特別枠のみのエントリーなど、明らかに不自然なものがあれば、確認を行い、場合によってはエントリーの取り消しをすることがあります。特別枠のエントリー数が上限に達したブロックは、その時点で特別枠からはエントリーできなくなります。それ以降は、一般参加していただくか、次回以降参加いただく形になります。一般参加費を財源として特別枠を設けているので、予算に限りがあることをあらかじめ関係者にも周知いただければと思います。